

# 「事業所ヒアリング調査」の調査結果について

～中小企業の持つ“経営課題”の見地から～

多摩信用金庫

価値創造事業部 地域経済研究所

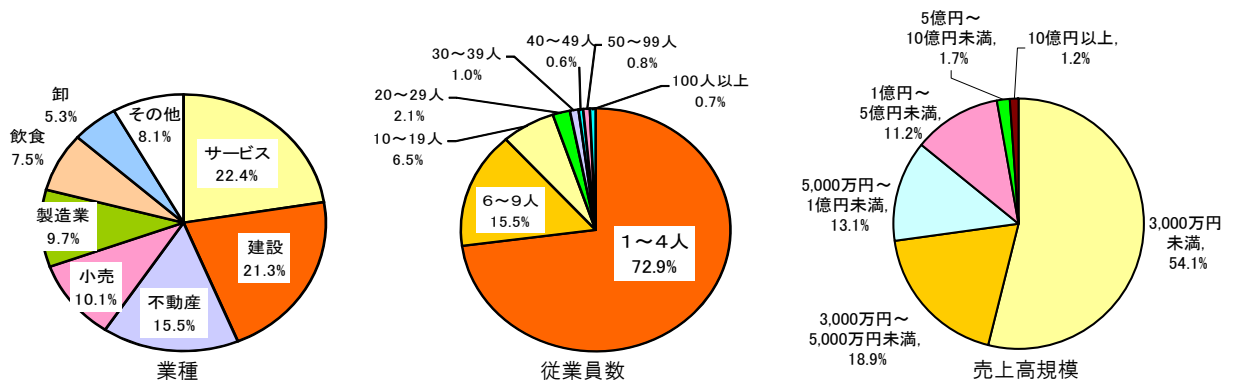
## 1. 実施概要

- |           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| (1) 実施期間  | 平成 24 年 1 月 19 日 (木) ～3 月 30 日 (金) |
| (2) 対 象 先 | 多摩地域中小企業・個人事業主 55,249 先            |
| (3) 実施方法  | 経営者への直接ヒアリング                       |

## 2. 集計結果

### (1) 回答状況

- ①総回答数 : 49,099 件 (回答率 88.86%)
- ②人 格 : 法人 56.4%、個人 43.6%
- ③業 種 : サービス業 22.4%、建設業 21.3%、不動産業 15.5%
- ④従業員数 : 10 名未満の事業所割合が全体の 88.4%
- ⑤年商規模 : 3,000 万円未満の事業所が 54.1%、1 億円以上の先は 14.1%
- ⑥売 上 高 (前期比) : 増加 15.3%、横ばい 41.0%、減少 43.7%
- ⑦利 益 率 (前期比) : 上昇 26.1%、低下 73.9%
- ⑧最終利益 : 黒字 68.1%、赤字 31.9%



### (2) 回答内容抜粋

設問『あらゆる経営環境の変化の中で御社の今年の経営課題をあげるとすれば何でしょうか』により、中小企業の持つ“経営課題”について下記のような回答を得ました。

売上高規模別、業種別による分析により、事業規模、業種特有の傾向を抽出しました。

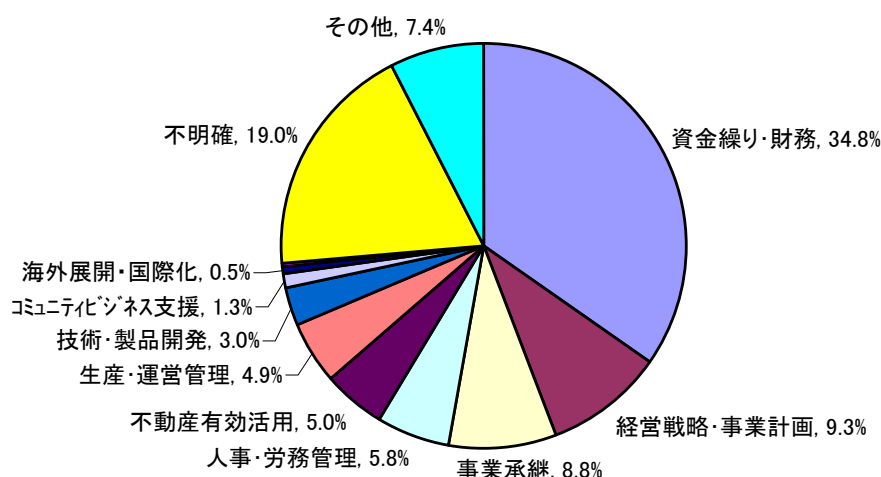
#### 【設問内容】

『あらゆる経営環境の変化の中で御社の今年の経営課題をあげるとすれば何でしょうか』

- |                 |                 |            |
|-----------------|-----------------|------------|
| 1. 資金繰り・財務      | 2. 事業承継         | 3. 技術・製品開発 |
| 4. 経営戦略・事業計画の作成 | 5. 海外展開・国際化     | 6. 不動産有効活用 |
| 7. コミュニティビジネス支援 | 8. 生産・運営管理      | 9. 人事・労務管理 |
| 10. 知的戦略・特許取得   | 11. 計画・課題が明確でない | 12. その他    |

[2 つまで選択可]

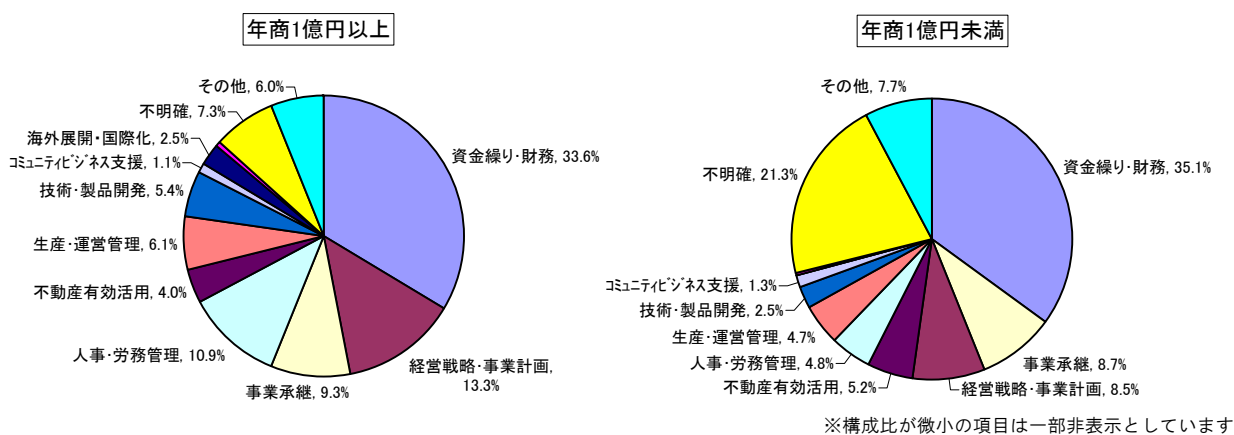
## 【回答内容：総合】



※構成比が微小の項目は一部非表示としています

- ・経営課題として最も多く挙げられたのは“資金繰り・財務”に関する課題です。対前期比の売上高、利益率は減少している割合が高く（2-(1)-⑥⑦より）、このことが資金繰りに影響を及ぼしていると考えられます。
- ・“資金繰り・財務”に次ぐのが“経営戦略・事業計画の作成”に関する課題となっています。経営環境が不透明な中、今後の明確な経営戦略が描きにくい現状が見られます。
- ・“計画・課題が明確でない”と回答した事業所も19%に上っています。

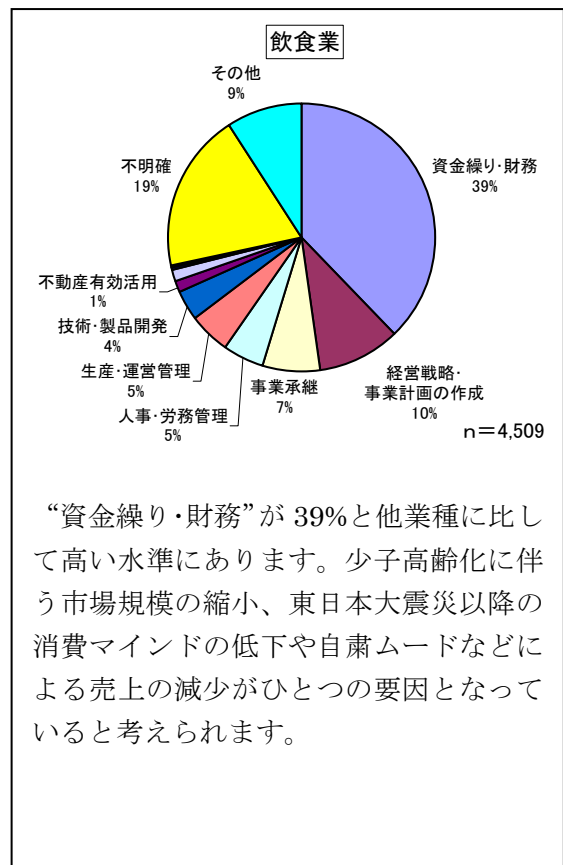
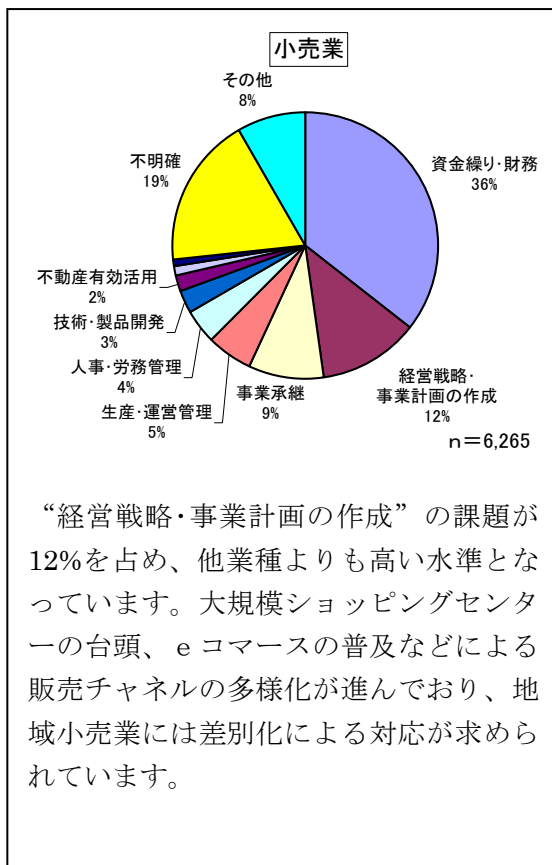
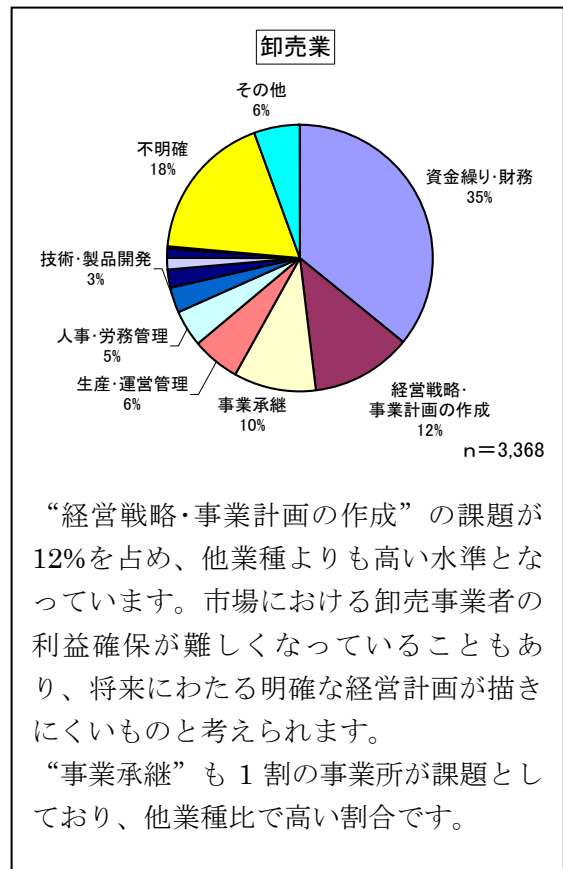
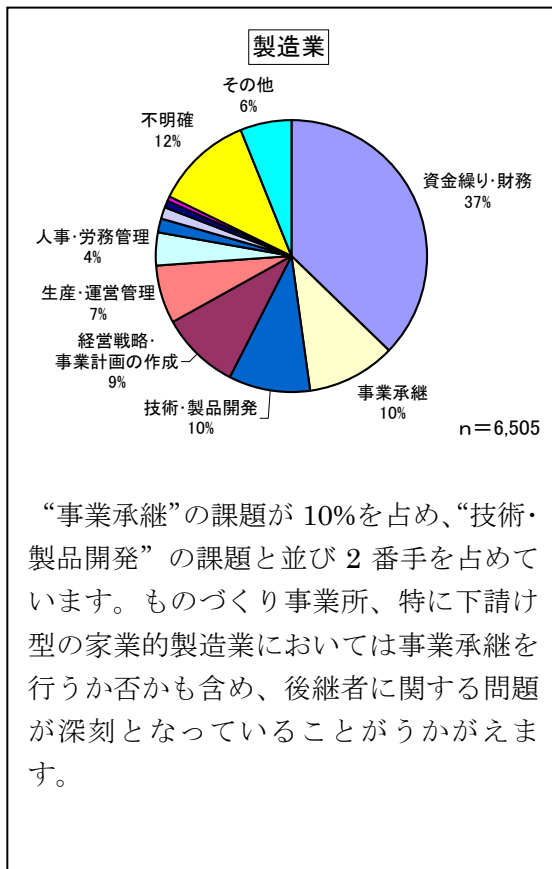
## 【売上高規模別傾向】



※構成比が微小の項目は一部非表示としています

- ・売上高規模に関わらず、“資金繰り・財務”の課題を挙げた事業所が最も多くなっています。
- ・年商1億円未満の事業所においては、“資金繰り・財務”に次ぐ課題として“事業承継”が挙げられています。いわゆる小規模事業所は、経営資源の制約により後継者の選定等、円滑な事業承継にも苦慮している現状がうかがえます。
- ・年商1億円以上の事業所においては、“人事・労務管理”を課題としてあげる割合が小規模事業所に比較して高くなっています。
- ・年商1億円以上の事業所においては経営課題が比較的明確となっていますが、小規模事業者においては2割以上の事業所で経営課題が“不明確”であると回答しており、自社の現状認識が十分に行われていない可能性があると考えられます。

## 【業種別傾向】



## 【業種別傾向】

